

平成28年度「県民Webアンケート」 第6回 自主防災の取り組みについて

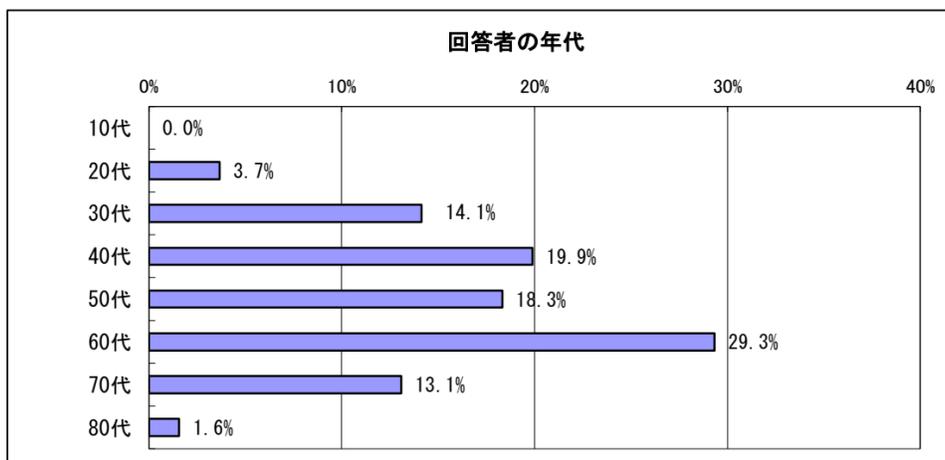
○実施期間 2016/9/15~2016/9/21

○アンケート会員数 224人 回収数 191件 (回収率 85.3%)

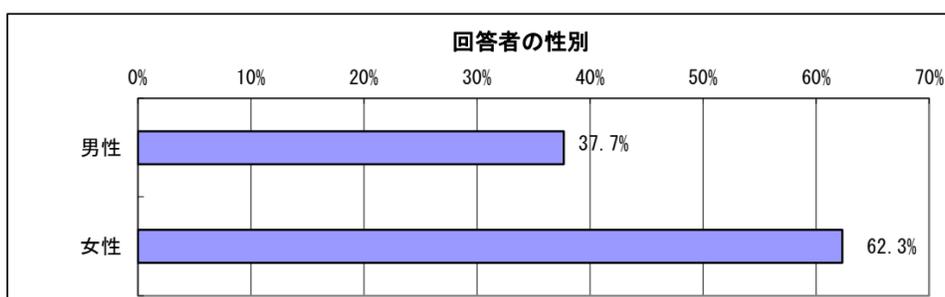
○近年、全国各地で自然災害が多発しており、奈良県でもいつ大きな災害に見舞われるかわかりません。災害が起きたときに必要な助けや支援には、「自らの身は自分で守る『自助』」、「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る『共助』」、「自治体や消防団、自衛隊などの『公助』」の3つがあります。阪神・淡路大震災では救出された人のうち約98%が自助・共助によるものでした。また、熊本地震でも自助・共助の大切さが再認識されたところでした。

そこで、自主防災活動についての意識や取組の実態を把握するとともに、意識や取組を高めるために必要な支援・施策検討の参考とするため、調査を実施します。

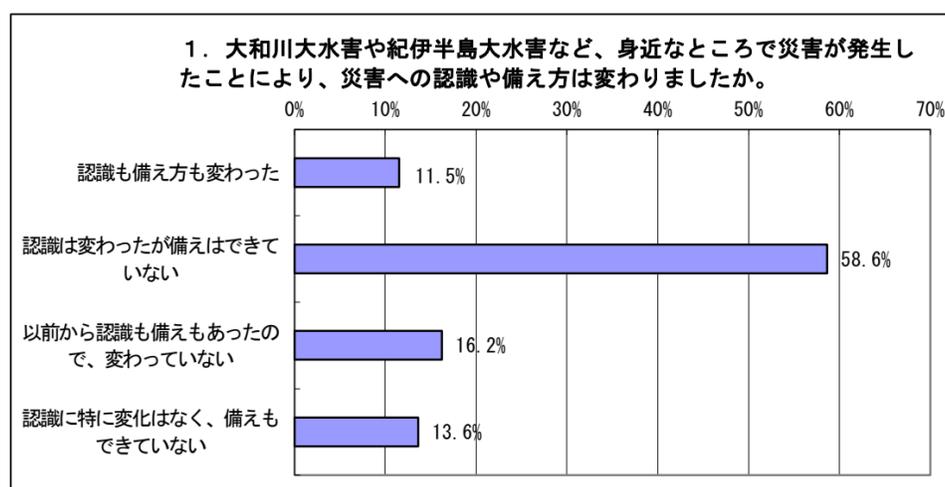
回答者の年代	回答数	比率
10代	0	0.0%
20代	7	3.7%
30代	27	14.1%
40代	38	19.9%
50代	35	18.3%
60代	56	29.3%
70代	25	13.1%
80代	3	1.6%
総計	191	100.0%



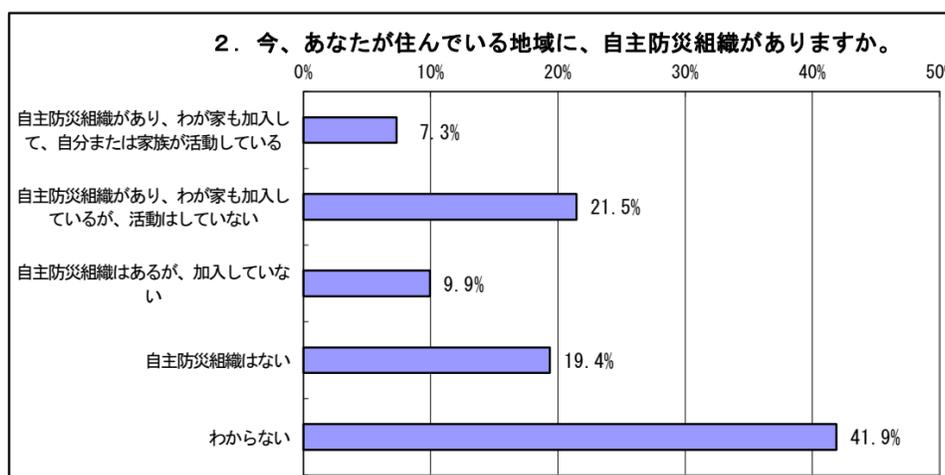
回答者の性別	回答数	比率
男性	72	37.7%
女性	119	62.3%
総計	191	100.0%



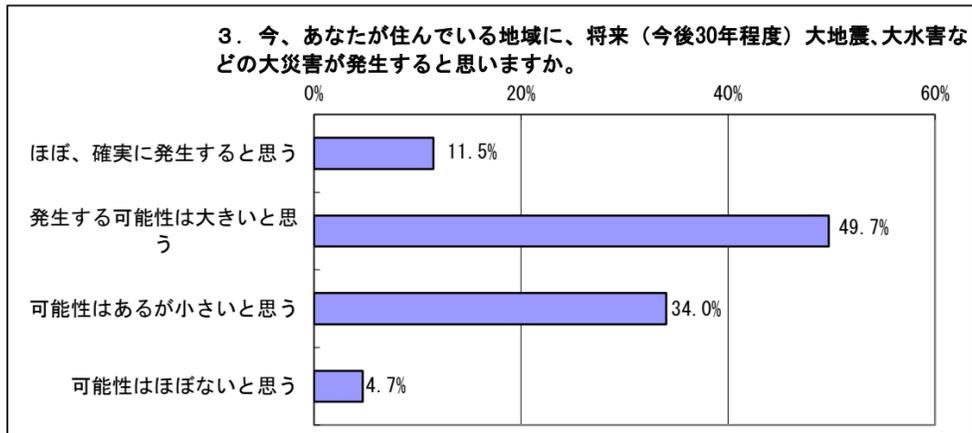
1. 大和川大水害や紀伊半島大水害など、身近なところで災害が発生したことにより、災害への認識や備え方は変わりましたか。	回答数	回答対象者	比率
認識も備え方も変わった	22	191	11.5%
認識は変わったが備えはできていない	112		58.6%
以前から認識も備えもあったので、変わっていない	31		16.2%
認識に特に変化はなく、備えもできていない	26		13.6%
総計	191		100.0%



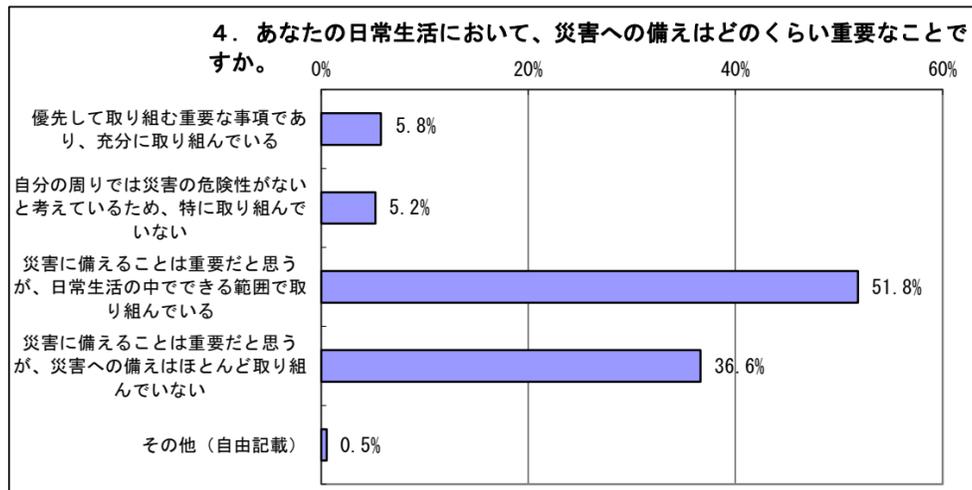
2. 今、あなたが住んでいる地域に、自主防災組織がありますか。	回答数	回答対象者	比率
自主防災組織があり、わが家も加入して、自分または家族が活動している	14	191	7.3%
自主防災組織があり、わが家も加入しているが、活動はしていない	41		21.5%
自主防災組織はあるが、加入していない	19		9.9%
自主防災組織はない	37		19.4%
わからない	80		41.9%
総計	191		100.0%



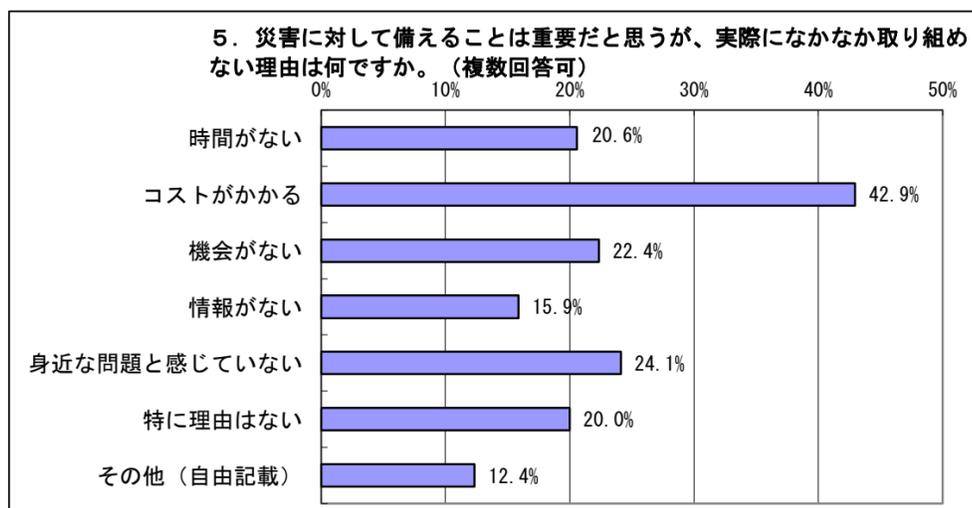
3. 今、あなたが住んでいる地域に、将来(今後30年程度)大地震、大水害などの大災害が発生すると思いますか。	回答数	回答対象者	比率
ほぼ、確実に発生すると思う	22	191	11.5%
発生する可能性は大きいと思う	95		49.7%
可能性はあるが小さいと思う	65		34.0%
可能性はほぼないと思う	9		4.7%
総計	191		100.0%



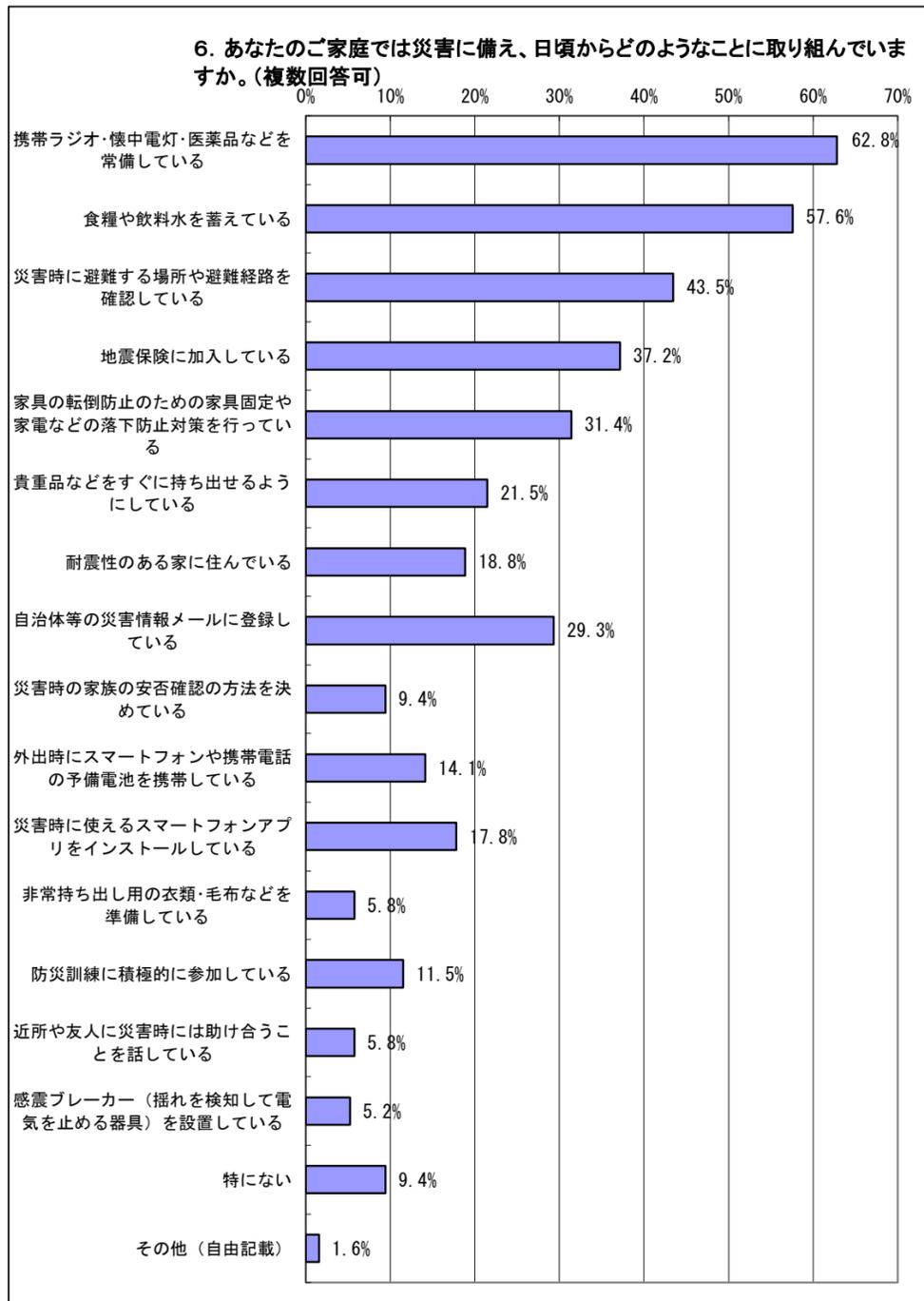
4. あなたの日常生活において、災害への備えはどのくらい重要なことですか。 →この設問(Q4)で「3. 災害に備えることは重要だと思うが、日常生活の中でできる範囲で取り組んでいる」、「4. 災害に備えることは重要だと思うが、災害への備えはほとんど取り組んでいない」、「5. その他(自由記載)」を選択された方はQ5へ、「1. 優先して取り組む重要な事項であり、充分に取り組んでいる」、「2. 自分の周りでは災害の危険性がないと考えているため、特に取り組んでいない」を選択された方はQ6へ	回答数	回答対象者	比率
優先して取り組む重要な事項であり、充分に取り組んでいる	11	191	5.8%
自分の周りでは災害の危険性がないと考えているため、特に取り組んでいない	10		5.2%
災害に備えることは重要だと思うが、日常生活の中でできる範囲で取り組んでいる	99		51.8%
災害に備えることは重要だと思うが、災害への備えはほとんど取り組んでいない	70		36.6%
その他(自由記載)	1		0.5%
総計	191		100.0%



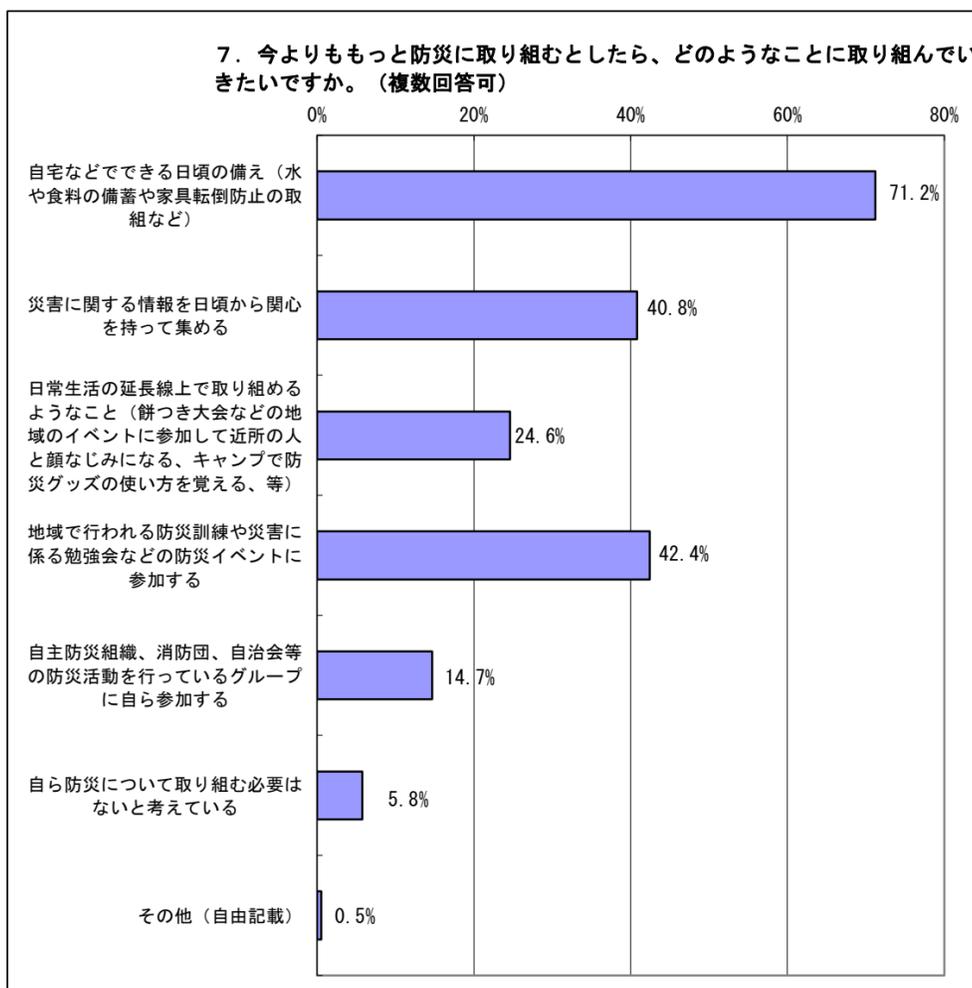
5. Q4で「3. 災害に備えることは重要だと思うが、日常生活の中でできる範囲で取り組んでいる」、「4. 災害に備えることは重要だと思うが、災害への備えはほとんど取り組んでいない」、「5. その他(自由記載)」を選択された方にお聞きします。災害に対して備えることは重要だと思うが、実際になかなか取り組めない理由は何ですか。(当てはまるものいくつかでも)	回答数	回答対象者	比率
時間がない	35	170	20.6%
コストがかかる	73		42.9%
機会がない	38		22.4%
情報がない	27		15.9%
身近な問題と感じていない	41		24.1%
特に理由はない	34		20.0%
その他(自由記載)	21		12.4%
総計	269		-



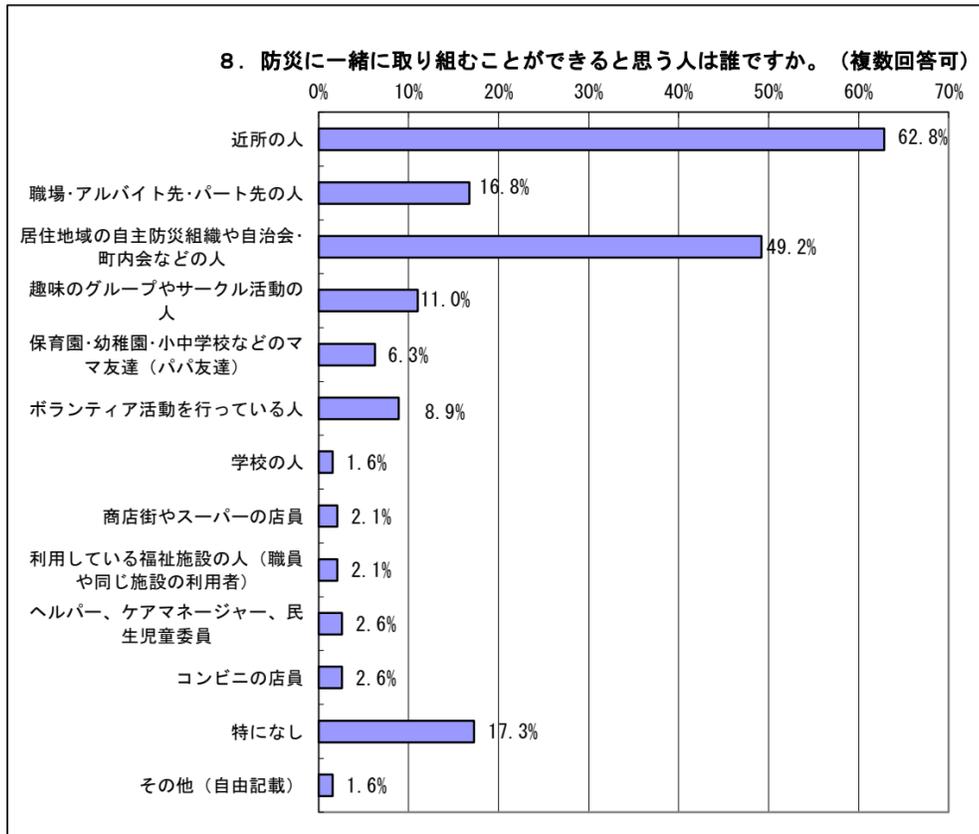
6. あなたのご家庭では災害に備え、日頃からどのようなことに取り組んでいますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率	
携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを常備している	120	191	62.8%	
食糧や飲料水を蓄えている	110		57.6%	
災害時に避難する場所や避難経路を確認している	83		43.5%	
地震保険に加入している	71		37.2%	
家具の転倒防止のための家具固定や家電などの落下防止対策を行っている	60		31.4%	
貴重品などをすぐに持ち出せるようにしている	41		21.5%	
耐震性のある家に住んでいる	36		18.8%	
自治体等の災害情報メールに登録している	56		29.3%	
災害時の家族の安否確認の方法を決めている	18		9.4%	
外出時にスマートフォンや携帯電話の予備電池を携帯している	27		14.1%	
災害時に使えるスマートフォンアプリをインストールしている	34		17.8%	
非常持ち出し用の衣類・毛布などを準備している	11		5.8%	
防災訓練に積極的に参加している	22		11.5%	
近所や友人に災害時には助け合うことを話している	11		5.8%	
感震ブレーカー(揺れを検知して電気を止める器具)を設置している	10		5.2%	
特にない	18		9.4%	
その他(自由記載)	3		1.6%	
総計	731		-	-



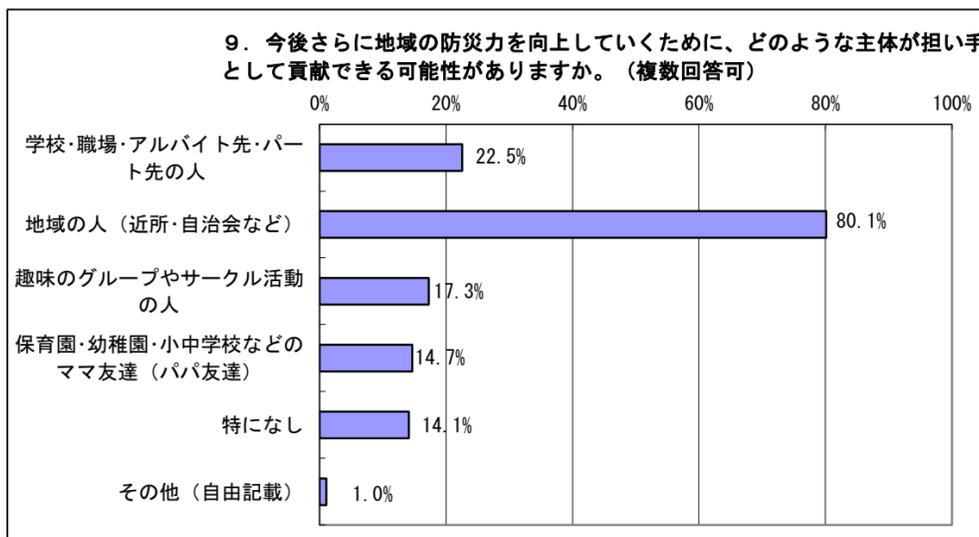
7. 今よりもっと防災に取り組むとしたら、どのようなことに取り組んでいきたいですか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
自宅などのできる日頃の備え(水や食料の備蓄や家具転倒防止の取組など)	136	191	71.2%
災害に関する情報を日頃から関心を持って集める	78		40.8%
日常生活の延長線上で取り組めるようなこと(餅つき大会などの地域のイベントに参加して近所の人と顔なじみになる、キャンプで防災グッズの使い方を覚える、等)	47		24.6%
地域で行われる防災訓練や災害に係る勉強会などの防災イベントに参加する	81		42.4%
自主防災組織、消防団、自治会等の防災活動を行っているグループに自ら参加する	28		14.7%
自ら防災について取り組む必要はないと考えている	11		5.8%
その他(自由記載)	1		0.5%
総計	382	-	-



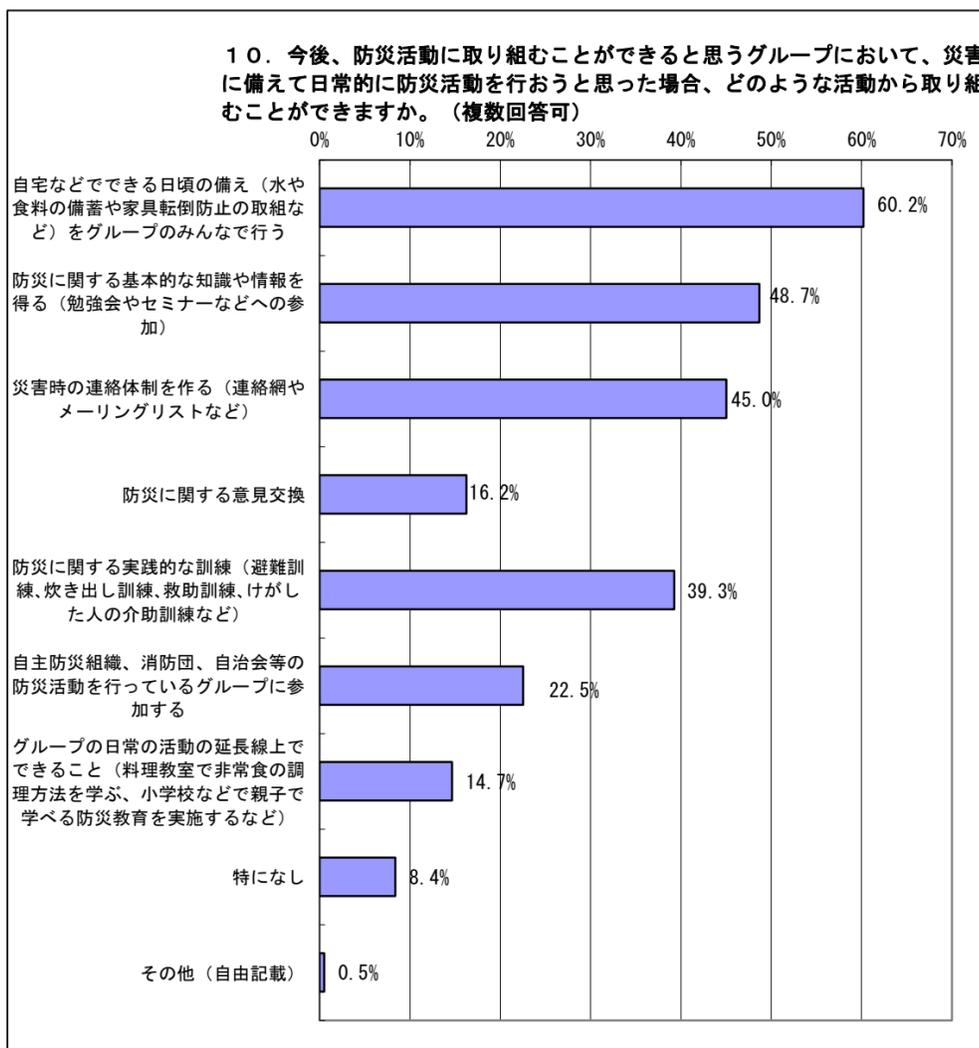
8. 防災と一緒に取り組むことができると思う人は誰ですか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
近所の人	120	191	62.8%
職場・アルバイト先・パート先の人	32		16.8%
居住地域の自主防災組織や自治会・町内会などの人	94		49.2%
趣味のグループやサークル活動の人	21		11.0%
保育園・幼稚園・小中学校などのママ友達(パパ友達)	12		6.3%
ボランティア活動を行っている人	17		8.9%
学校の人	3		1.6%
商店街やスーパーの店員	4		2.1%
利用している福祉施設の人(職員や同じ施設の利用者)	4		2.1%
ヘルパー、ケアマネージャー、民生児童委員	5		2.6%
コンビニの店員	5		2.6%
特になし	33		17.3%
その他(自由記載)	3		1.6%
総計	353		-



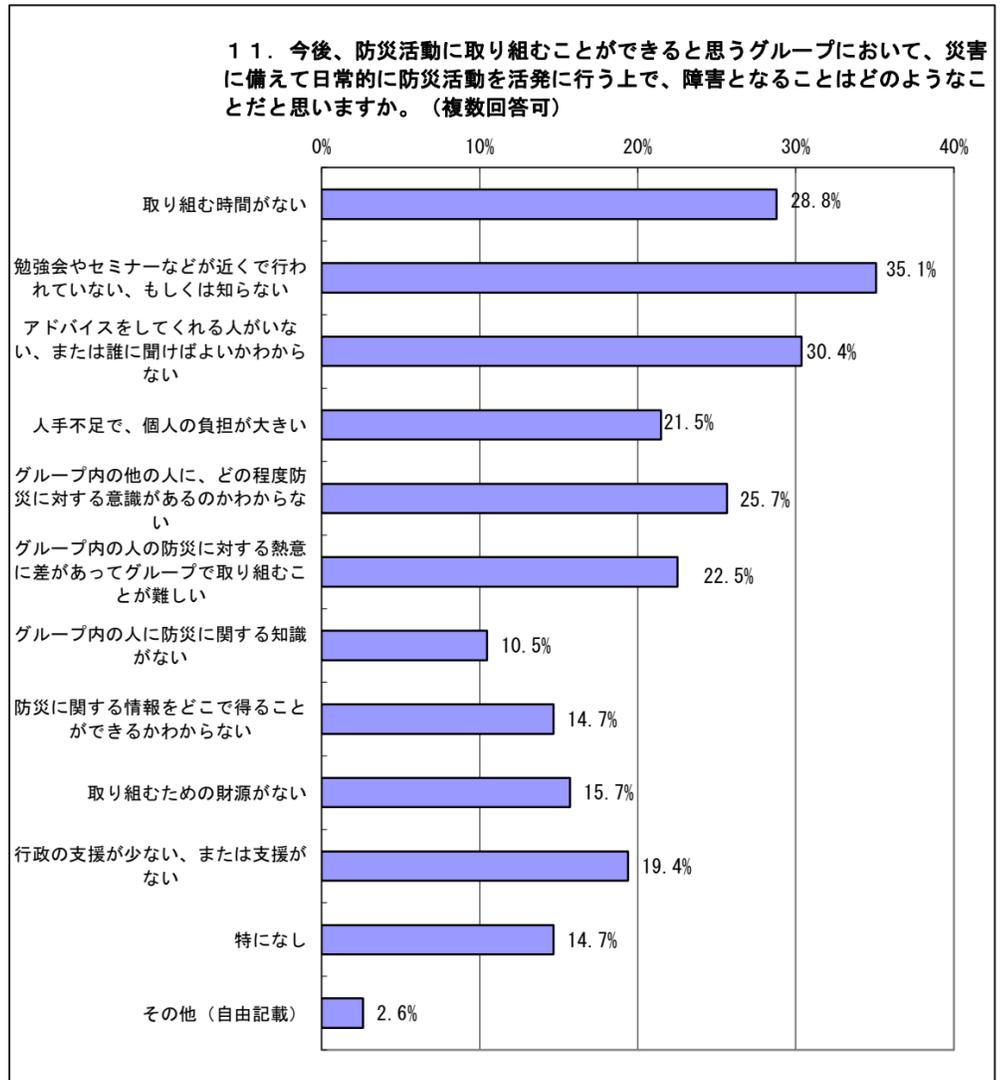
9. 今後さらに地域の防災力を向上していくために、どのような主体が担い手として貢献できる可能性がありますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
学校・職場・アルバイト先・パート先の人	43	191	22.5%
地域の人(近所・自治会など)	153		80.1%
趣味のグループやサークル活動の人	33		17.3%
保育園・幼稚園・小中学校などのママ友達(パパ友達)	28		14.7%
特になし	27		14.1%
その他(自由記載)	2		1.0%
総計	286	-	



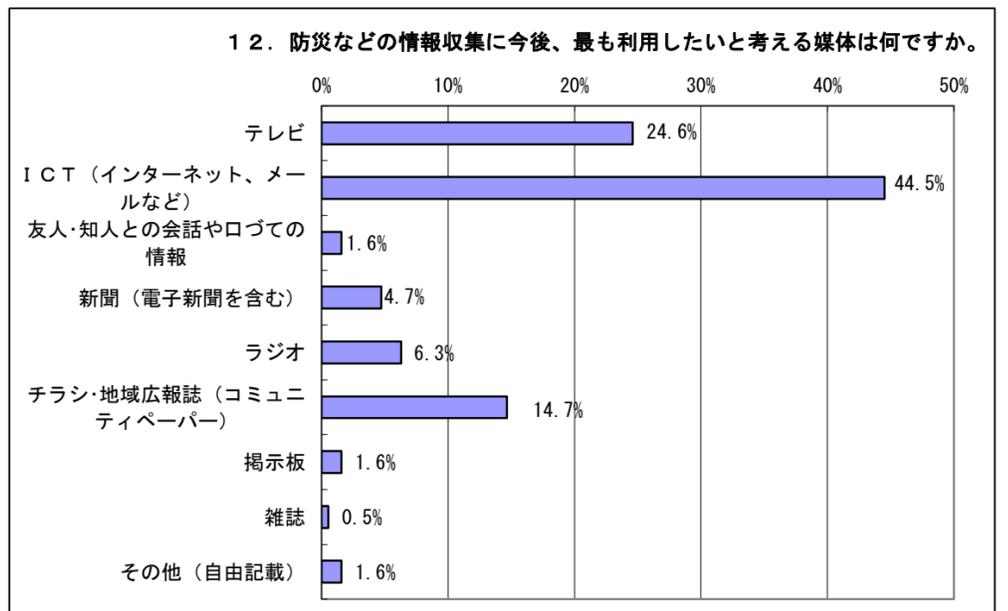
10. 今後、防災活動に取り組むことができると思うグループにおいて、災害に備えて日常的に防災活動を行おうと思った場合、どのような活動から取り組むことができますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
自宅などでできる日頃の備え(水や食料の備蓄や家具転倒防止の取組など)をグループのみんなで行う	115	191	60.2%
防災に関する基本的な知識や情報を得る(勉強会やセミナーなどへの参加)	93		48.7%
災害時の連絡体制を作る(連絡網やメーリングリストなど)	86		45.0%
防災に関する意見交換	31		16.2%
防災に関する実践的な訓練(避難訓練、炊き出し訓練、救助訓練、けがした人の介助訓練など)	75		39.3%
自主防災組織、消防団、自治会等の防災活動を行っているグループに参加する	43		22.5%
グループの日常の活動の延長線上でできること(料理教室で非常食の調理方法を学ぶ、小学校などで親子で学べる防災教育を実施するなど)	28		14.7%
特になし	16		8.4%
その他(自由記載)	1		0.5%
総計	488		-



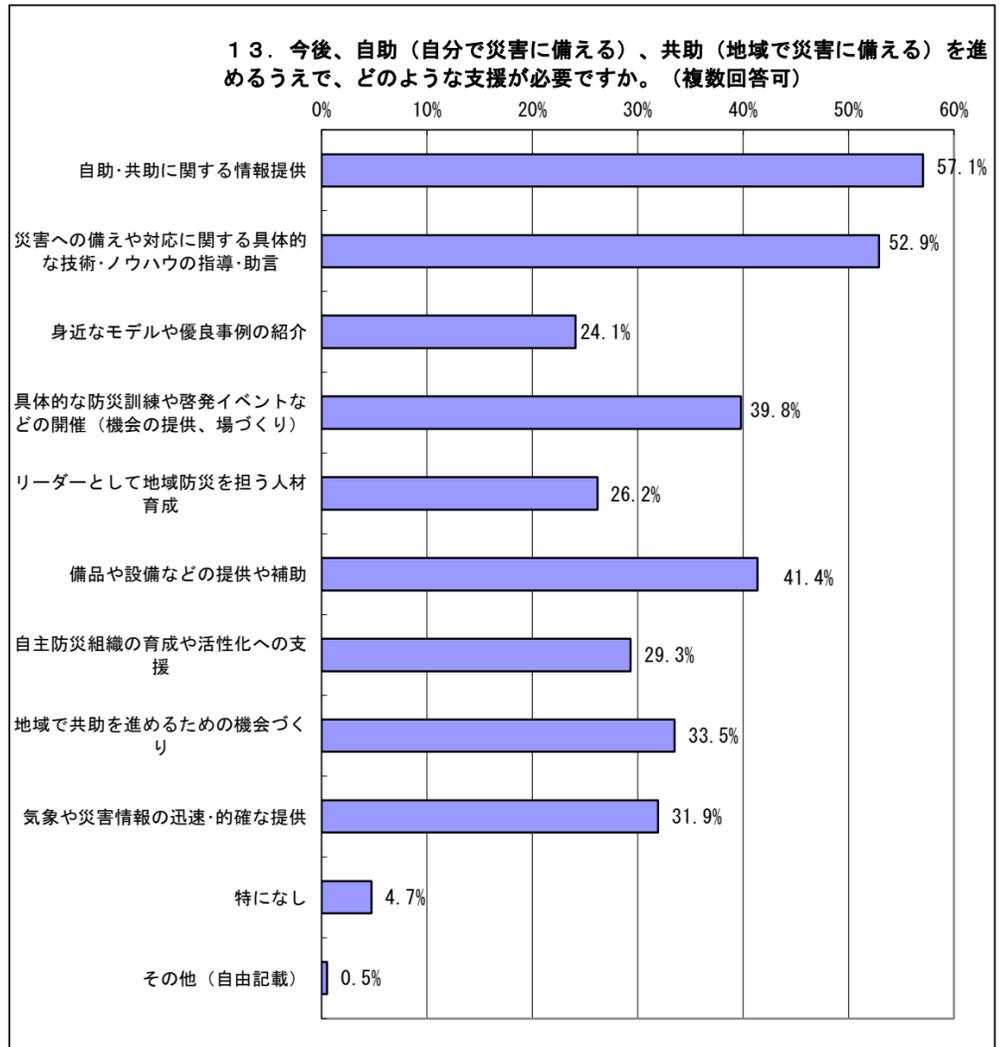
11. 今後、防災活動に取り組むことができると思うグループにおいて、災害に備えて日常的に防災活動を活発に行う上で、障害となることはどのようなことだと思いますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
取り組む時間がない	55	191	28.8%
勉強会やセミナーなどが近くで行われていない、もしくは知らない	67		35.1%
アドバイスをしてくれる人がいない、または誰に聞けばよいかわからない	58		30.4%
人手不足で、個人の負担が大きい	41		21.5%
グループ内の他の人に、どの程度防災に対する意識があるのかわからない	49		25.7%
グループ内の人の防災に対する熱意に差があってグループで取り組むことが難しい	43		22.5%
グループ内の人に防災に関する知識がない	20		10.5%
防災に関する情報をどこで得ることができるかわからない	28		14.7%
取り組むための財源がない	30		15.7%
行政の支援が少ない、または支援がない	37		19.4%
特になし	28		14.7%
その他(自由記載)	5		2.6%
総計	461		-



12. 防災などの情報収集に今後、最も利用したいと考える媒体は何ですか。	回答数	回答対象者	比率
テレビ	47	191	24.6%
ICT(インターネット、メールなど)	85		44.5%
友人・知人との会話や口づての情報	3		1.6%
新聞(電子新聞を含む)	9		4.7%
ラジオ	12		6.3%
チラシ・地域広報誌(コミュニティペーパー)	28		14.7%
掲示板	3		1.6%
雑誌	1		0.5%
その他(自由記載)	3		1.6%
総計	191		-



13. 今後、自助(自分で災害に備える)、共助(地域で災害に備える)を進めるうえで、どのような支援が必要ですか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
自助・共助に関する情報提供	109	191	57.1%
災害への備えや対応に関する具体的な技術・ノウハウの指導・助言	101		52.9%
身近なモデルや優良事例の紹介	46		24.1%
具体的な防災訓練や啓発イベントなどの開催(機会の提供、場づくり)	76		39.8%
リーダーとして地域防災を担う人材育成	50		26.2%
備品や設備などの提供や補助	79		41.4%
自主防災組織の育成や活性化への支援	56		29.3%
地域で共助を進めるための機会づくり	64		33.5%
気象や災害情報の迅速・的確な提供	61		31.9%
特になし	9		4.7%
その他(自由記載)	1		0.5%
総計	652		-



14. 県では、防災訓練への支援や地域への安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣、自主防災リーダーの養成などに取り組んでいますが、防災にかかる県の事業・施策に対してご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください。	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	70	-	-